

2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月6日  
東

上場会社名 株式会社薬王堂ホールディングス 上場取引所  
 コード番号 7679 URL <https://www.yakuodo-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西郷 辰弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 小笠原 康浩 (TEL) 019-697-8480  
 四半期報告書提出予定日 2020年7月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( 当社ウェブサイトにて決算説明の動画配信予定 )

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第1四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	27,777	—	1,387	—	1,471	—	1,045	—
2020年2月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 1,046百万円( —%) 2020年2月期第1四半期 —百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	52.98	—
2020年2月期第1四半期	—	—

(注) 当社は2019年9月2日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績はありません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第1四半期	52,478	22,780	43.4
2020年2月期	50,244	22,168	44.1

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 22,780百万円 2020年2月期 22,168百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	—	—	22.00	22.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	0.00	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は2019年9月2日に単独株式移転により設立されたため、前年第2四半期までの実績はありません。

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	55,687	—	2,369	—	2,560	—	1,862	—	94.33
通期	110,300	8.1	3,915	0.0	4,315	0.4	3,127	0.1	158.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は2019年9月2日に単独株式移転により設立されたため、第2四半期(累計)の対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期1Q	19,740,219株	2020年2月期	19,740,219株
② 期末自己株式数	2021年2月期1Q	一株	2020年2月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期1Q	19,740,219株	2020年2月期1Q	一株

(注) 当社は2019年9月2日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績はありません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明資料の入手方法)

当社は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、機関投資家・アナリスト向け説明会の開催を中止することにいたしました。なお、決算説明資料及び説明動画は完成次第、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. その他	8
(1) 仕入及び販売の状況	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、2019年9月2日に単独株式移転により株式会社薬王堂の完全親会社として設立されましたが、連結の範囲に実質的な変更はないため、前年同四半期と比較を行っている項目については、株式会社薬王堂の2020年2月期第1四半期連結累計期間（2019年3月1日から2019年5月31日まで）と比較しております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて発した緊急事態宣言の影響で、大幅に制約された経済活動が続きました。緊急事態宣言は解除されたものの、新型コロナウイルスの第2波の可能性も非常に高く、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループの営業基盤であります東北地方においても同様の影響があり、個人消費は悪化が続いており、依然として厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、当社グループは、販売価格や品揃えの強化を図り、来店客数及び買上点数の増加に取り組むとともに、小商圏ドミナント出店を推進し、ドラッグストアを青森県1店舗、秋田県1店舗、福島県2店舗の合計4店舗を新規出店いたしました。また、岩手県の1店舗を退店し、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は300店舗（うち調剤併設型3店舗、調剤専門薬局2店舗）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は277億7千7百万円（前年同期比14.4%増）、営業利益は13億8千7百万円（前年同期比51.5%増）、経常利益は14億7千1百万円（前年同期比45.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億4千5百万円（前年同期比48.6%増）となりました。

なお、当社グループはドラッグストア事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいためセグメント情報の記載を省略しております。主要なドラッグストア事業における部門別の業績は次のとおりです。

#### ① ヘルス

医薬品は感冒薬、消毒薬等が伸張し、衛生用品ではマスク、生理用品等が伸張いたしました。調剤も堅調に推移いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比10.7%増加し、56億3千8百万円となりました。

#### ② ビューティ

化粧品は男性化粧品等が伸張し、トイレタリーではハンドソープやオーラルケア等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比4.6%増加し、41億8千7百万円となりました。

#### ③ ホーム

日用品は洗剤、家庭紙等が伸張し、衣料品では履物等が伸張いたしました。バラエティ部門はペット関連商品等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比15.6%増加し、54億9千1百万円となりました。

#### ④ フード

食品は加工食品、日配品等が伸張し、酒類ではビール類、酎ハイ等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比19.3%増加し、124億5百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、524億7千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億3千3百万円の増加となりました。

流動資産は238億3千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億4千6百万円増加しました。主な増加要因は、現金及び預金が8億1千2百万円増加、新規出店に伴う商品が9億8千6百万円増加したことがあげられます。

固定資産は286億4千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8千7百万円増加しました。主な増加要因は、新規出店に伴う建物等の有形固定資産の増加が1億2千9百万円あったことがあげられます。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、296億9千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億2千1百万円の増加となりました。

流動負債は222億2千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億5千4百万円増加しました。主な増加要因は、買掛金の増加が14億9千1百万円あったことがあげられます。

固定負債は74億7千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億6千7百万円増加しました。主な増加要因は、長期借入金が11億9千2百万円増加したことがあげられます。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、227億8千万円となり、前連結会計年度末に比べ6億1千1百万円の増加となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加6億1千1百万円があげられます。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、現時点において2020年4月6日に公表しました業績予想数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,958	2,771
売掛金	1,042	1,035
商品	15,104	16,091
その他	3,883	3,938
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	21,990	23,836
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,457	20,575
土地	679	679
その他(純額)	1,901	1,912
有形固定資産合計	23,037	23,167
無形固定資産	375	384
投資その他の資産	4,840	5,089
固定資産合計	28,254	28,641
資産合計	50,244	52,478
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,946	13,437
短期借入金	1,400	2,171
1年内返済予定の長期借入金	2,262	2,412
未払法人税等	758	512
賞与引当金	465	269
ポイント引当金	489	516
店舗閉鎖損失引当金	60	59
その他	4,485	2,845
流動負債合計	21,868	22,223
固定負債		
長期借入金	4,550	5,743
資産除去債務	1,291	1,315
その他	364	415
固定負債合計	6,206	7,473
負債合計	28,075	29,697
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	2,311	2,311
利益剰余金	19,759	20,371
株主資本合計	22,170	22,782
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1	△1
その他の包括利益累計額合計	△1	△1
純資産合計	22,168	22,780
負債純資産合計	50,244	52,478

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
売上高	27,777
売上原価	21,422
売上総利益	6,355
販売費及び一般管理費	4,968
営業利益	1,387
営業外収益	
受取利息	5
受取事務手数料	40
固定資産受贈益	5
その他	36
営業外収益合計	88
営業外費用	
支払利息	3
その他	0
営業外費用合計	3
経常利益	1,471
税金等調整前四半期純利益	1,471
法人税、住民税及び事業税	485
法人税等調整額	△59
法人税等合計	425
四半期純利益	1,045
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,045

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	1,045
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	0
その他の包括利益合計	0
四半期包括利益	1,046
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,046
非支配株主に係る四半期包括利益	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 3. その他

## (1) 仕入及び販売の状況

当社グループは、ドラッグストア事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいことから、ドラッグストア事業における部門別及び地域別の仕入及び販売の状況を記載しております。

## ① 仕入実績

当第1四半期連結累計期間における部門別仕入実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルス	3,595	18.2	4,060	18.2	+12.9
ビューティ	3,077	15.6	3,098	13.9	+0.7
ホーム	4,306	21.8	4,882	21.9	+13.4
フード	8,751	44.4	10,269	46.0	+17.3
合計	19,731	100.0	22,311	100.0	+13.1

## ② 販売実績

## イ. 部門別販売実績

当第1四半期連結累計期間における部門別販売実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルス	5,092	21.0	5,638	20.3	+10.7
ビューティ	4,003	16.5	4,187	15.1	+4.6
ホーム	4,750	19.6	5,491	19.8	+15.6
フード	10,396	42.9	12,405	44.8	+19.3
合計	24,242	100.0	27,721	100.0	+14.4

## ロ. 地域別販売実績

当第1四半期連結累計期間における地域別販売実績を示すと、次のとおりであります。

地域別	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
青森県	3,251	13.4	3,815	13.8	+17.3
秋田県	2,993	12.4	3,523	12.7	+17.7
岩手県	9,313	38.4	9,962	35.9	+7.0
宮城県	6,329	26.1	7,324	26.4	+15.7
山形県	2,216	9.1	2,638	9.5	+19.0
福島県	137	0.6	457	1.7	+232.1
合計	24,242	100.0	27,721	100.0	+14.4